

KNC NETWORK NEWS

2015年9月12日 発行

気になる記事: 郵政3社上場承認、時価総額計 13 兆円に

日本郵政と傘下のゆうちょ銀行、かんぽ生命保険の東京証券取引所への株式上場が承認された。株式時価総額は3社あわせて 13 兆円を超え、1987 年2月に上場した NTT(約 25 兆円)に次ぐ規模になる。



(有)北野財經システム

北野会計事務所

大阪市淀川区西中島 7-1-26

オリエンタル新大阪ビル 707 号

TEL : 06-6304-7857・FAX : 06-6304-8851

<http://www.kngroup.jp>

経営一言: 自分を横に置いて、他人に尽くすという「利他の心」で生きていく転換がいまこそ必要だと思う。

(京セラ名誉会長・稲盛 和夫氏)

— 所長コメント: だいたにおいて、お客様は、わがまま、気まま勝手です。何事も他人は思うようにならないもの。それでも相手の立場で行動すれば気持ちも納得できる。 —

租税公課の損金算入の時期 《税務》

租税公課には、損金算入されるものとそうではないものがあります。損金算入されない主な租税公課は法人税、道府県民税、市町村民税、各種加算税、延滞金です。

損金の額に算入される租税公課と、その損金算入時期は次の通りです。

申告納税方式の租税

事業税、事業所税などは、納税申告書を提出した事業年度が損金算入時期です。ただし、直前の事業年度分の事業税、地方法人特別税は、事業年度終了の日までにその全部、あるいは一部が申告されていなくても、その事業年度の損金の額に算入できます。

賦課課税方式の租税

不動産取得税、自動車税、固定資産税、都市計画税などは、賦課決定のあった日、納期の開始日の事業年度、実際に納付した事業年度のいずれかになります。

※なお、申告納税方式は、納税者自身が税法に基づいて計算して申告し、納税する方法です。賦課課税方式は、国・地方公共団体が納めるべき金額を計算して、納税者に通知する方法をいいます。

成長を促す叱り方 《経営》

子育てや部下の育成において「ほめて伸ばす」ことの効用がやたらと取り上げられたこともありましたが、ほめるだけでは人はなかなか育ちません。ダメなものはダメ、間違いは間違いとして、きちんと叱って反省を促し、その上で本人の主体性を引き出して改善させることが大切です。

効果的な叱り方を実践する留意点としては、以下のような項目が考えられます。

- ①叱る場所、タイミングを配慮する
- ②「叱る」と「怒る」を区別する
- ③他人と比較しない(比較と競争は違う)
- ④思い込みで叱らない
- ⑤「人」「こと」を区別して伝える
- ⑥相手の真意をくみ取り、それを大切にす
- ⑦言行一致を心掛け、筋の通った理由を伝える
- ⑧毅然とした態度でダメはダメと向き合って伝える覚悟を持つ
- ⑨部下の日常をよく観察し、長所や貢献している点も伝える
- ⑩必ず最後に「未来につなげる」かたちで終わる

賃貸用不動産を売却した際のみなし仕入率について

《税務》

簡易課税の不動産業のみなし仕入率が改正され 50% から 40% になりました。

ところで、継続的に賃貸していた不動産を売却した場合には、固定資産である賃貸用不動産の売却については、のみなし仕入率「60%(第四種事業)」により仕入控除税額を計算することができます。

不動産賃貸業者が、継続的に不動産賃貸を行い、その固定資産である賃貸用不動産を売却した場合は、消基達 13-2-9(固定資産等の売却収入の事業区分)によって、事業者が事業の用に供していた固定資産等の売却となり、のみなし仕入率は第4種事業区分として取り扱われます。

簡易課税の事業区分の判定は、その事業者の課税資産の譲渡等を区分して判定します。

- 例)・業者が建築した不動産を購入した場合、販売先が、他の業者へそのまま売却した場合は、卸売業として第1種事業
- ・消費者に売却した場合は、小売業として第2種事業
 - ・不動産業において同じ棚卸資産を売却した場合でも、事業区分が異なります。

土地とともに購入した建物の取扱い 《税務》

中古建物が建っている土地を購入し、建物を購入後すぐに取り壊す場合、この建物の購入費用と取壊費用は、いずれもその土地の取得費となります。

減価償却資産の取得価額はその資産の購入代価だけでなく、その資産を取得する際に要した付随費用や、その資産を事業の用に供する為に直接要した費用の額も含まれます。

中古建物とその敷地を取得した場合で、その敷地である土地を利用する目的のために建物を取得している場合には、その中古建物の帳簿価額と当該建物の取壊しに要した費用についても、当該土地の取得価額に算入して、土地の取得価額に含めることとなります。